

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	商船システム概論	
科目基礎情報							
科目番号	0008			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	プリント等						
担当教員	筒井 壽博						
到達目標							
船舶管理に必要な不可欠な船舶の「安全管理システム」について、システムの構造および機能を学習するとともに、海事条約上の位置づけを把握し、陸上における船舶管理の業務に精通するとともに、実務上必要な学識と多様な将来の社会システムを検討する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
国際条約とISMコードの関係が理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
安全管理システムの管理手法が理解できる。	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
ISMコードの検査システムが理解できる	十分に理解できる		だいたい理解できる		ほとんど理解できない		
自動化社会における海運を考察する	十分にディスカッションできる		だいたい自分の意見を言える		ほとんど自分の考えを持ってない		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 教養 B1 教養 B2 教養 C1 教養 C2 教養 C3 教養 D1 教養 D2 専門 E2							
教育方法等							
概要	各種管理システムの成立過程をひとつのシステム設計としてを検証すると普遍的な「設計原理」を見出すことができる。このように機械的システムの領域から社会的システムの領域にまで設計対象を拡張しても俯瞰可能なシステム設計のアナロジーとしての視点を与える。						
授業の進め方・方法	各種の管理システムの設計思想を理解する。 自動化社会における海事海運の将来像を検討することにより、複合的な課題を解決するためのグループ討議による創造的な思考方法を学習する。						
注意点	板書を中心とした授業とグループ討議によるディスカッションを併用する。また、一部の内容は課題等のテーマを与え、調査等を行いその結果を口頭発表もしくは報告書としての提出する。 1 単位あたり、30時間の自学自習時間を必要とする。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業内容や学習方法が理解できる		
		2週	SOLAS条約とISMコード		条約とコードの関係が理解できる		
		3週					
		4週	ISMコードの概略と解釈		ISMコードが求めているものが理解できる		
		5週			ISMコードにもとづく管理システム(SMS)の具体例が理解できる		
		6週	SMSの具体例		SMSの構築において必要なSOLAS条約などの規定について理解できる		
		7週					
		8週	ISMコードの検査業務		ISMコードに定められた内部検査、外部検査について理解できる		
	2ndQ	9週					
		10週	自動航行システムの動向		自動航行システムの動向を把握する		
		11週					
		12週			関連する法規等の動向について調査する		
		13週					
		14週	近未来の自動化社会		調査結果に基づきディスカッションを行う		
		15週					
		16週			レポート等を作成する		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	70	0	10	0	20	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	10	40
専門的能力	0	30	0	0	0	10	40
分野横断的能力	0	10	0	10	0	0	20